

# **2020年度 事業報告書**

(2020年12月1日から2021年11月30日まで)

公益財団法人ノエビアグリーン財団

## I 法人の概況

### 1. 設立年月日

2013年3月21日

### 2. 定款に定める目的

この法人は、環境及びスポーツ並びに児童・青少年の健全な育成に関する事業を行い、地球環境の保全及びスポーツの普及と発展並びに未来を担う児童・青少年の育成を通じ、豊かな社会の形成に寄与することを目的とする。

### 3. 定款に定める事業内容

- (1) 環境活動の普及と啓蒙
- (2) 環境活動団体及びスポーツ団体等への助成
- (3) 各種スポーツの普及と選手育成の支援
- (4) 児童・青少年の健全育成支援
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

### 4. 主たる事務所の状況

主たる事務所：東京都中央区銀座七丁目6番15号

### 5. 役員等に関する事項（2021年11月30日時点）

※五十音順

役職	氏名	現職
代表理事	赤川 正志	(株)ノエビアホールディングス 顧問
理事	植松 泰右	(株)トーヨーアサノ 代表取締役社長
理事	大倉 俊	(株)ノエビアホールディングス 代表取締役社長
理事	金ヶ崎 絵美	十条王子法律事務所 弁護士
理事	島田 亨	エンジェル投資家
理事	野口 健	アルピニスト
監事	佐藤 陽一郎	太陽グラントソントン税理士法人 代表社員、 理事長、税理士
監事	本田 親彦	公認会計士
評議員	白石 康次郎	プロセーラー 海洋冒険家
評議員	竹内 洋岳	プロ登山家 立正大学客員教授
評議員	橋本 真	(株)ノエビアホールディングス 執行役員 人事部門 統括責任役員
評議員	浜崎 濠次郎	NPO 法人 マリンプレイス東京 理事長
評議員	水永 政志	スター・マイカ・ホールディングス(株) 代表取締役社長
評議員	吉田 一幸	(株)ノエビアホールディングス 常務取締役 管理部門 統括責任役員

## II 事業の状況

### 1. 事業の実施概況

#### (1) 児童、青少年の健全育成支援事業

##### 1) 助成事業

日本を代表するジュニアスポーツ選手の育成、また、心身ともに健全な青少年の育成に寄与することを目的として、一般公募による助成活動を実施しています。

<対象>

- ・ 児童、青少年の健全育成の向上を目的とした体験活動、およびスポーツの振興に関する事業を積極的に行い、または奨励している団体。
- ・ 将来、世界大会やオリンピック、パラリンピック出場等を目指すアマチュアスポーツ選手（18歳以下）。

<選考結果>

2020年度は、総応募件数 268 件（団体 186 件、個人 82 件）の中から、79 件（団体 42 件、個人 37 件）に対し、助成金を交付いたしました。

#### 【団体 42 件】

NO.	団体名	事業内容
1	特定非営利活動法人 絵本カーニバル (東京都) ※今回で4回目の採択	長期入院、通院している子供たちを対象に、病院にて絵本の展示とワークショップなどを実施。
2	(学生団体) 福島大学災害ボランティアセンター (福島県) ※今回で3回目の採択	夏休み期間中に、全国から子供たちを募集し、福島県内で震災や福島の現状などを学ぶ3泊4日の交流会を実施。
3	特定非営利活動法人 日本ホスピタル・プレイ協会すべての 子どもの遊びと支援を考える会 (静岡県)	子供たちの治療への不安感や恐怖心の軽減によるQOLの向上を目的に、子供と医療を「遊び」でつなぐホスピタル・プレイ・ツールの開発や社会への啓発と普及活動などを実施。
4	特定非営利活動法人 川崎寺子屋食堂 (神奈川県)	子供の貧困の連鎖を断ち切ることを目的に、栄養バランスの良い食事の提供や学習指導、進路指導を実施。
5	一般社団法人 スポーツ能力発見協会 (東京都)	子供たちの優れた能力を発見し可能性を高めるため、子供たちの運動能力を測定し、データ分析などを行う「DOSAスポーツ能力測定会」を実施。
6	一般社団法人 コンパスナビ (埼玉県)	児童養護施設を巣立つ若者たちを対象に、生活再建のサポート事業を実施。 ※2021年5月2日「一般社団法人 青少年自助自立支援機構」より改称

7	一般社団法人 やまと災害ボランティアネットワーク (神奈川県) ※今回で2回目の採択	宮城県内の児童養護施設の子供たちを対象に、宮城県石巻市網地島にて自然体験学習を実施。
8	特定非営利活動法人 BLACKSOX(ブラックソックス) (神奈川県)	障がいのある子供たちの達成感や自己肯定感を育むため、スポーツ体験教室を実施。
9	あさひ子ども見守りネットワーク (大阪府) ※今回で2回目の採択	地域密着型の「高殿こども食堂 あのね」と登録制の子供の居場所「あのねくらぶ」の運営を通し、地域内で課題を抱えた子供たちをサポートする事業を実施。
10	特定非営利活動法人 子育てサークルネットしずおか (静岡県)	困窮家庭や不登校など、学習環境に恵まれない子供たちを対象に、学習支援の場を提供。
11	特定非営利活動法人 自由創造ラボたんぽぽ (神奈川県)	不登校の子供たちが社会とのつながりを保つため、気軽に安心して参加できるフリースペースを提供。
12	全日本ろう者空手道連盟 (東京都)	聴覚障がいを持つ子供たちを対象に、空手道におけるジュニア・ユース選手の発掘・育成事業を実施。
13	特定非営利活動法人 地球対話ラボ (東京都)	東北の子供たちがテレビ電話を活用し、同じく被災地であるインドネシア・アチェの子供たちと国際交流を図る事業を実施。
14	特定非営利活動法人 つばめっこ (宮城県) ※今回で2回目の採択	障がいのある子供たちを対象に、長期休暇(夏・冬・春休み)にイベントや宿泊学習を実施。
15	浪速地域・地域活動協議会 (大阪府) ※今回で2回目の採択	課題のある地域の子供たちへの学習支援や子供食堂の運営のほか、学校や関係機関と連携した教育・子育て相談事業を実施。
16	一般社団法人 日本ろう者スキー協会 (北海道)	聴覚障がいを持つ子供たちを対象に、新たなコミュニケーション技法を学ぶきっかけ作りとしてカーリング体験会を実施。
17	特定非営利活動法人 ニュークリエイター・オルグ (大阪府)	企業とのコラボや地域イベントにて、プログラミング体験や学習ワークショップなどのIT教育プログラムを提供。

18	認定特定非営利活動法人 ハートフル福祉募金 (宮城県)	聴覚障がいを持つ子供たちを対象に、全国で活躍するデフアスリートによるデフスポーツフェスティバルを開催。
19	北海道文化団体協議会 (北海道)	障がいの有無に関わらず子供たちがアートを通して輝く未来を創出するため、『こどもアール・ブリュット北海道みらい作品展』を開催。
20	藪の傍 (京都府)	伝統文化と景観の保全を目的に、子供たちとともに放置竹林の活用による自然体験や野外料理体験を実施。
21	特定非営利活動法人 わくわーく (福岡県)	未来を担う子供たちの可能性を広げていくため、「スポーツ」「アート」「環境」「国際交流」「人権」「食」をテーマとしたさまざまな体験活動を実施。
22	特定非営利活動法人 九州車いすテニス協会 (福岡県)	障がいの有無に関わらず、専門知識のあるコーチによるジュニアのためのテニス×車いすテニス教室や体験会を実施。
23	社会福祉法人 星美ホーム (東京都) ※今回で3回目の採択	児童養護施設の子供たちを対象に、「乗り越える力」につなげるための野外活動を実施。
24	特定非営利活動法人 ハンディキャップサポート すまいるウイズ (東京都) ※今回で2回目の採択	障がい児と大学生がスポーツや外出で共に遊び学ぶ共生学習活動を実施。
25	特定非営利活動法人 えき・まちネットこまつ (山形県)	地方農村部の空き店舗を活用した子供食堂を複数開設し、生活困窮世帯や片親家庭の子供たちの健全育成を支援。
26	特定非営利活動法人 沖永良部スポーツクラブELOVE (鹿児島県)	子供たちの運動機会の創出やスポーツへの関心を高めるため、沖永良部島外から講師を招聘し、さまざまなスポーツ教室を開催。
27	一般社団法人 環境文化研究所 (福井県) ※今回で2回目の採択	「地学で納得！自然災害で生きる防災力を身につけよう！」をテーマに、地学の自然体験で防災力を身に付ける事業を実施。
28	認定特定非営利活動法人 キーパーソン21 (神奈川県)	子供たちの主体的な社会参加を目指したキャリア教育プログラムを全国の小中高大学へ提供。

29	ブレイカープロジェクト実行委員会 (大阪府)	地域の子供たちを対象にした即興音楽のワークショップを通して、廃校跡の体育館を拠点とした恒常的な「音の場」づくりを実施。
30	公益財団法人 北陸体力科学研究所 (石川県)	ジュニア選手の競技力向上を目的に、「視覚能力」の測定および動体視力や眼と手の協応運動のトレーニングなどを実施。
31	特定非営利活動法人 南河内こどもステーション (大阪府)	障がいの有無に関わらず、子供たちがのびのびと成長できる”共生社会”を目指した自然体験活動を実施。
32	一般社団法人 明宝ツーリズムネットワーク センター (岐阜県)	子供たちの「自主性・主体性・実践力」を育むため、生きる力や生き抜く力を掘り起こす自然体験活動を実施。
33	認定特定非営利活動法人 CPAO(シーパオ) (大阪府) ※今回で4回目の採択	基本的な生活がままならない子供たちを対象に、日常では経験できない自然体験や生活体験の機会を提供。
34	特定非営利活動法人 アイス (福岡県)	いじめや不登校のため学校に通えない子供とその保護者を対象に、自己肯定感を育む3泊4日の表現ワークショップを開催。
35	池田市公益活動促進協議会 (大阪府)	大阪府池田市の歴史や文化、自然環境を次世代に引き継ぐため、さまざまな自然体験や里山を舞台にした伝統文化を学ぶ事業を実施。
36	ハッピーズ (宮城県)	聴覚障がいを持つ小学生を対象に、スマートフォンで学べるバレーボール初心者講座を開設。
37	社会福祉法人 子供の町 (埼玉県)	児童養護施設の子供たちを対象に、音楽療法士による指導のもと、さまざまな楽器に触れる音楽活動を実施。
38	認定特定非営利活動法人 カルチャーナイト北海道 (北海道) ※今回で3回目の採択	年に1回、札幌市内の公共施設や文化施設、民間施設を夜間開放し、地域文化を楽しむ事業を実施。
39	社会福祉法人 輝雲会 (神奈川県)	児童養護施設の子供たちを対象に、仲間と力を合わせて行う夏のキャンプ体験活動を実施。

40	かすがこどもにほんごクラス (福岡県)	日本語を母語としない子供たちを対象に、安心して日本での生活が送れるよう、日本語教室や農業体験活動を実施。
41	つくば里の生きものくらぶ (茨城県) ※今回で3回目の採択	「農作業体験と生きもの観察会による環境と食生活を考える地域支援事業」を実施。
42	特定非営利活動法人 みやぎ・せんだい子どもの丘 (宮城県)	宮城県のブランド食材「仙台白菜」の定植や収穫を通して、地域住民と共に食文化や歴史、自然環境などについて学ぶ事業を実施。

## 【個人 37 件】

\* 申請時点の年齢

NO.	氏名	年齢※	競技種目
1	オオシマ サクラ 大島 さくら (長野県) ※今回で2回目の採択	18 歳	スノーボード
2	オオタ ナツ 太田 捺 (北海道) ※今回で2回目の採択	13 歳	近代五種
3	オダ トキト 小田 凱人 (愛知県) ※今回で2回目の採択	14 歳	車いすテニス (パラスポーツ)
4	キウチ ヒョウガ 木内 彪凱 (静岡県) ※今回で2回目の採択	15 歳	自転車 BMX レーシング
5	コクボ マオ 小久保 真旺 (三重県) ※今回で3回目の採択	17 歳	フェンシング
6	コンドウ カオル 近藤 薫 (岐阜県) ※今回で2回目の採択	17 歳	競泳 (パラスポーツ)
7	フクダ カノン 福田 果音 (福岡県) ※今回で2回目の採択	14 歳	競泳 (パラスポーツ)
8	イワオ ユウサク 巖 優作 (兵庫県)	18 歳	陸上 フィールド やり投
9	カワムラ アンリ 川村 あんり (東京都)	16 歳	フリースタイルスキー モーグル
10	キタノ アミサ 北野 安美紗 (奈良県) ※今回で3回目の採択	17 歳	競泳 (パラスポーツ)
11	ワタナベ エレン 渡邊 愛蓮 (長野県) ※今回で2回目の採択	17 歳	アルペンスキー



12	サワダ シホ 澤田 詩歩 (岩手県)	17 歳	バドミントン (パラスポーツ)
13	オカモト ルカ 岡本 留佳 (佐賀県) ※今回で 2 回目の採択	14 歳	テコンドー
14	イガラシ ハルト (北海道) 五十嵐 晴冬	17 歳	フリースタイルスキー エアリアル
15	ウエマツ カリン (静岡県) 植松 夏鈴	18 歳	レスリング
16	オオタ カエデ 太田 楓 (北海道)	15 歳	近代五種
17	オチアイ ハナ 落合 英那 (愛知県)	18 歳	オリエンテーリング
18	コバヤシ ハルナ 小林 陽菜 (滋賀県) ※今回で 2 回目の採択	15 歳	カヌー スプリント
19	サイトウ ショウタ 斎藤 彰太 (神奈川県) ※今回で 2 回目の採択	15 歳	カヌー スラローム
20	ナカガワ リュウ 中川 瑠 (大阪府) ※今回で 2 回目の採択	16 歳	スポーツクライミング
21	ナガサワ アオカ 永澤 亜桜香 (奈良県)	14 歳	硬式テニス
22	ハラサワ コタロウ 原澤 虎太郎 (栃木県)	16 歳	アルペンスキー
23	モリモト リョウガ 森本 涼雅 (大阪府) ※今回で 2 回目の採択	13 歳	フィギュアスケート
24	ヤマモト ナツキ 山本 夏生 (兵庫県)	15 歳	硬式テニス

25	サトウ リキ 佐藤 利希 (千葉県) ※今回で3回目の採択	15歳	サーフィン
26	オカダ ソラ 岡田 爽良 (神奈川県)	17歳	セーリング 49er 級
27	キタガワ アキヒサ 北川 晃久 (大阪府)	15歳	自転車 BMX レーシング
28	スダ マイ 須田 真衣 (宮城県)	16歳	フェンシング
29	タケダ ハジメ 竹田 創 (宮城県) ※今回で2回目の採択	18歳	スポーツクライミング
30	トムラ タイチ 戸村 太一 (大阪府)	14歳	テコンドー
31	ハセガワ メイ 長谷川 愛依 (愛知県) ※今回で2回目の採択	17歳	硬式テニス
32	マツヤマ ジュキヤ 松山 寿輝也 (愛知県)	13歳	ゴルフ
33	ムトウ シュウ 武藤 守生 (福岡県)	14歳	硬式テニス
34	モチヅキ レン 望月 蓮 (山梨県)	14歳	自転車 ロード
35	クボシタ フミヤ 久保下 郁弥 (福岡県) ※今回で2回目の採択	18歳	車いすテニス (パラスポーツ)
36	サハラ ハルカ 佐原 春香 (千葉県) ※今回で2回目の採択	17歳	車いすテニス (パラスポーツ)
37	タカノ ショウゴ 高野 頌吾 (福岡県) ※今回で2回目の採択	17歳	車いすテニス (パラスポーツ)

## 2) スポーツ体験事業

近年、社会問題とされている子供のスポーツ離れによる心身の活力低下を背景に、子供たちのスポーツへの興味関心を高め、スポーツに親しむ子供たちを増やすことを目的としたスポーツ体験会を開催しています。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

## (2)環境事業

### 1) 環境教室

自然体験などの実践を通じて、自然環境の保全と改善について子供たちとともに考え、意識向上を図ることを目的として、『山』・『海』・『空』・『島』をテーマとし環境教室を実施しています。2020年度は従来までの集合型イベントに加え、新たな取り組みとしてオンライン環境教室を開始しました。

また、公式 YouTube チャンネルでの自宅にいながら自然を学べる「未来につながる環境教室」Web 授業動画配信（2019年度より開始）を2020年度も継続して取り組みました。詳細は以下の通りです。

#### ・「山の教室」

##### <集合型イベント>

大人数での移動を伴うイベントは新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としました。ただし、プロ登山家・竹内洋岳さんプロデュースのもと、「星ふる学校くまの木」（栃木県塩谷郡塩谷町）にて実施している「山の教室（米作り）」において、次年度集合型イベント再開に向けた取り組みとして、過去の同教室に参加実績のある親子2組に稲刈り（2021年10月3日（日））にご参加いただきました。

##### <オンラインイベント>

（開催時期）2021年4月11日（日）・6月12日（土） 全2回

（開催場所）糺屋三郎右衛門（東京都練馬区）

（内 容）都内唯一のみそ蔵の職人によるオンラインみそ作り教室

＊プロ登山家・竹内洋岳さんプロデュース

（対 象）小学1年生～小学6年生のお子さまとその親御さま

（参加者）42組（約90名）

##### <Web 授業動画配信>

公式 YouTube チャンネルでの Web 授業動画配信は、「山の教室」にて3回の配信を行いました。配信内容は下記の通りです。

【第9回】 [プロ登山家・竹内洋岳さんの「おうちでみそ作り!？」](#)

【第10回】 [プロ登山家・竹内洋岳さんの「おうちで炭酸まんじゅう作り!？」](#)

【第11回】 [プロ登山家・竹内洋岳さんの「おうちで米作り!？」人力米作り編](#)

・「海の教室」

(開催時期) 2021年11月20日(土)

(開催場所) 横浜ベイサイドマリーナ(神奈川県横浜市金沢区)

(内 容) ヨット見学、プロセラー 海洋冒険家・白石康次郎さんによるトークセッション

(対 象) 関東近郊の児童養護施設やファミリーホームで生活する小学1年生～  
高校3年生の子供たちと引率者(施設職員、養育者)

(参加者) 計2施設(7名)

・「空の教室」

(開催時期) 2021年3月・4月(7回)

(開催場所) 八尾空港(大阪府八尾市)

(内 容) ヘリコプター体験フライト、ヘリコプター教室(ヘリコプターに関わる仕事  
や活躍の様子について)、空港・格納庫見学など

(対 象) 関西地区の児童養護施設やファミリーホームで生活する小学1年生～  
高校3年生の子供たちと引率者(施設職員、養育者)

(参加者) 計7施設(約50名)

・「島の教室」

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

2) 六甲山の森づくり事業

低木層の伐採やつる性植物の除去や植樹などの森の管理業務を行うことで、土砂災害を  
防ぐ役割の樹林帯を守り育てることを目的として、六甲山の森づくり事業を実施しています。

2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催を中止しました。

## 2. 役員会等に関する事項

実施年月日	理事会または評議員会	議案内容
2021年1月14日	理事会	1. 2019年度事業報告書、計算書類、財産目録及び附属明細書承認の件 2. 任期満了に伴う理事、監事及び評議員改選（案）の件 3. 評議員会招集の件
2021年2月1日	評議員会	1. 議事録署名人1名選出の件 2. 2019年度事業報告書、計算書類、財産目録及び附属明細書承認の件 3. 任期満了に伴う理事、監事及び評議員改選の件
2021年2月1日	理事会	代表理事選定の件
2021年8月24日	理事会	助成金交付規程の改定案承認の件
2021年11月12日	理事会	1. 2021年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み承認の件 2. 評議員会目的事項提案（評議員会の決議の省略）の件
2021年11月24日	評議員会	2021年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込み承認の件

## III 法人の課題

・助成事業においては、今後、支払助成金の予算を増額し、より多くの団体や個人を支援できるよう、さらなる事業規模の拡大を検討します。

・スポーツ体験事業においては、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため集合型イベントの開催を中止しましたが、2021年度以降、オンライン開催を取り入れ、事業規模や支援の幅を広げられるよう取り組みます。

・環境事業においては、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、「山の教室」にて、オンラインみそ作り教室を実施しました。

感染のリスクがなく、全国どこからでも参加が可能というオンライン開催のメリットをいかし、2021年度も開催回数を増やし実施予定です。また、公式 YouTube チャンネルでの「Web 授業」動画配信は引き続き継続し、子供たちが未来の自然について考えるきっかけになるような魅力的なコンテンツを配信してまいります。

・当財団および助成事業、スポーツ体験事業、環境事業の各事業の認知度向上のため、Facebook やインスタグラム、YouTube など SNS の活用を引き続き推進します。

また、一定期間「ノエビア銀座本社」1Fの展示スペースを賃借し、各事業にて撮影した写真を展示する「ノエビアグリーン財団写真展」を継続し、認知度向上に努めてまいります。